

2026年2月期

第2四半期 決算説明会資料

2025年10月10日

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

目次

財務報告	2
2026年2月期 第2四半期決算概況	3
経営ビジョン	16
トピックス	19
株主様への対応	27
ESGへの取組み	30



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

財務報告

2026年2月期 第2四半期決算概況
2026年2月期 通期業績見通し



上期を振り返って

- 日本の物価は、食料品を中心に上昇傾向が収まらず、実質賃金がなかなかプラスにならない状況が続いています。個人消費は盛り上がりを欠いた状況でしたが、当社は、昨年のサーバートラブルの影響も無くなり、第2四半期以降は既存店売上高も伸びを取り戻しました。為替相場は、ドル安円高となる場面もありましたが、概ね落ち着いた展開でした。

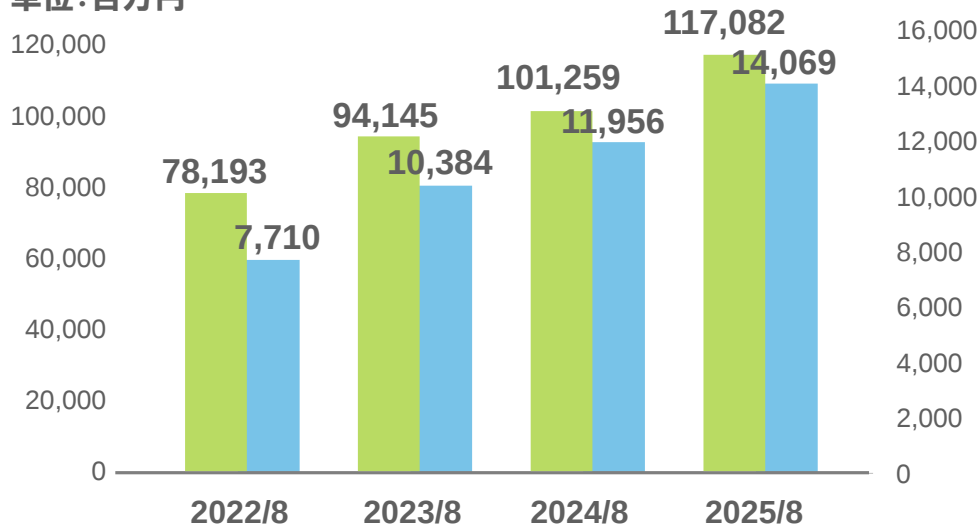
売上高 : 衣料事業は、昨年のトレンドが継続する形で、タウン系(ドレスアップ系)ブランドが好調に売上を伸ばし、ECも2桁成長を維持しています。さらに連結子会社化したノーリーズの売上が加わっています。雑貨事業は、3COINSが引き続き好調で、前年同期比で2桁の伸びとなり、連結売上高は上期として過去最高となりました。

利益面 : 雑貨事業において、300円超の付加価値の高い価格帯の新商品を積極的に投入し、売上高総利益率が前年比で大幅に改善しました。衣料部門においても、売上の増加により営業利益は増益となりました。その結果、連結経常利益も上期として過去最高となりました。

連結

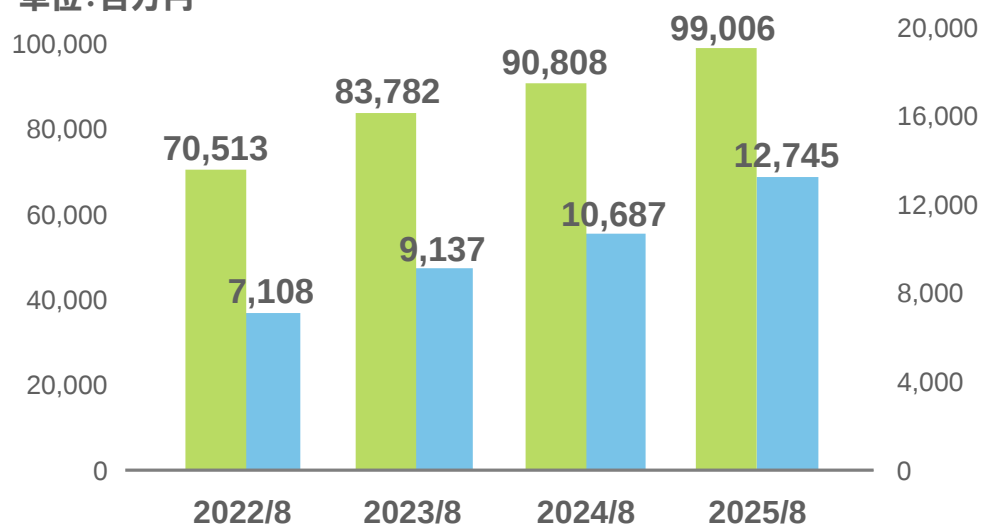
■ 売上高 ■ 経常利益

単位: 百万円



(株)パルグループ
ホールディングス単体 + (株)パル ■ 売上高 ■ 経常利益

単位: 百万円



単位:百万円

	2024年2月期 第2四半期	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期			
			公表値	実績	前年同期比	公表値比
売上高	94,145	101,259	113,500	117,082	115.6%	103.2%
売上総利益	52,327	56,673	63,700	66,874	118.0%	105.0%
(売上比)	55.6%	56.0%	56.1%	57.1%	1.1%	1.0%
営業利益	10,299	11,806	12,700	14,095	119.4%	111.0%
(売上比)	10.9%	11.7%	11.2%	12.0%	0.3%	0.8%
経常利益	10,384	11,956	12,700	14,069	117.7%	110.8%
(売上比)	11.0%	11.8%	11.2%	12.0%	0.2%	0.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益	7,001	7,668	8,130	9,186	119.8%	113.0%
(売上比)	7.4%	7.6%	7.2%	7.8%	0.2%	0.6%

- 売上面では、連結子会社化したノーリーズの売上と、好調な雑貨事業が牽引車となり、上期の売上高は前年同期比115.6%となりました。
- 利益面では、3COINS事業における、300円超の商品の売上総利益率拡大を主な要因として、上期の営業利益は前年同期比119.4%と期初想定を大幅に上回る伸びとなりました。

単位:百万円

	2024年2月期 第2四半期	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	
			実績	前年同期比
売上高	83,782	90,808	99,006	109.0%
売上総利益	46,533	50,889	57,110	112.2%
(売上比)	55.5%	56.0%	57.7%	1.7%
営業利益	9,166	10,680	12,760	119.5%
(売上比)	10.9%	11.8%	12.9%	1.1%
経常利益	9,137	10,687	12,746	119.3%
(売上比)	10.9%	11.8%	12.9%	1.1%
中間純利益	6,623	7,921	9,636	121.7%
(売上比)	7.9%	8.7%	9.7%	1.0%

- 衣料事業は、昨年度のトレンドが継続しており、タウン系(ドレスアップ系)ブランドは好調に売上を伸ばしました。EC売上も順調に二桁の伸びとなっており、増収増益となりました。
- 3COINS事業は、大型店「3COINS+plus」の新規出店を継続している他、300円超の価格帯の新商品を投入する際に、付加価値に見合った価格設定を行い、売上総利益率が大幅に改善しました。これらの取り組みにより、売上高、営業利益ともに大幅に増加しました。

単位:百万円

	2024年2月期 第2四半期	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	前年比
売上高	8,526	8,352	10,679	127.9%
営業利益	862	824	876	106.3%
経常利益	864	826	875	105.9%
中間純利益	552	520	572	110.0%

- 2026年2月期第2四半期の売上高は、前年同期比127.9%と大幅な増収となりました。
今期、吸収合併したギフト雑貨ブランド「BIRTHDAY BAR」が大きく貢献していますが、「BIRTHDAY BAR」を除いた売上も、前年同期比107%と順調に伸びています。基幹ブランド「one after another NICECLAUP」は復調し、ブランド既存店売上も前年同期比111%と好調でした。
- 営業重点項目のSNSフォロワー数は、全社で242万人から43万人増の285万フォロワーになり、順調にその数を伸ばしています。SNSと連動して上期EC売上高は前年同期比109%の41億円になりました。
- 出店は9店舗、退店は7店舗、TOTAL2店舗増の129店舗になりました。
マーケットのギフト雑貨需要の高まりから、「BIRTHDAY BAR」への出店依頼が多い状況です。
今後も、ブランド大型化に向け、好調ブランドを中心に出店していきます。
- 今後、「BIRTHDAY BAR」の規模拡大、新規ブランドの発信、店舗の大型化を推進し、さらなる売上拡大を図ってまいります。

セグメント別販売実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2024年2月期 第2四半期	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	前年同期比
衣 料				
売上高	57,673	59,857	70,581	117.9%
構成比	61.3%	59.2%	60.3%	1.1%
営業利益	8,504	8,649	8,947	103.4%
営業利益率	14.7%	14.4%	12.7%	△1.7%
雑 貨				
売上高	36,375	41,244	46,279	112.3%
構成比	38.6%	40.8%	39.5%	△1.3%
営業利益	1,784	3,173	5,137	161.9%
営業利益率	4.9%	7.7%	11.1%	3.4%
その他				
売上高	96	157	222	141.4%
	2024年2月期 第2四半期	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	前年度比
EC売上高				
ZOZO TOWN	11,390	11,772	13,677	116.2%
自社PALCLOSET	9,211	10,905	12,208	112.0%
その他	2,104	2,373	3,363	141.7%
合計	22,705	25,049	29,247	116.8%
対衣料売上高比率	39.4%	41.8%	41.4%	△0.4P

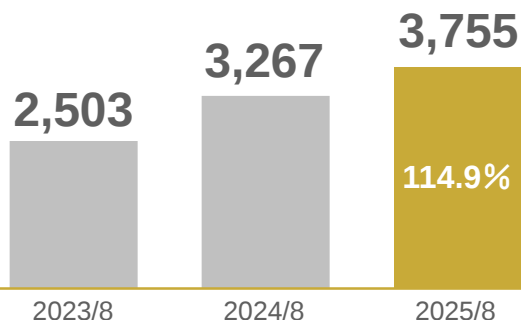
- 雑貨事業が好調に売上・利益を伸ばし、売上高営業利益率は11.1%と過去最高水準まで上昇しています。7月に開店した3COINS香港1号店は、開店から8月末までの売上高が全店舗中のトップで、想定以上の滑り出しとなりました。
- EC売上高は前年度比116.8%と順調に伸長し、アプリ会員数も1,241万人と、前年度末比96万人増加しています。

主なブランド

PAL GROUP HOLDINGS

売上高

単位:百万円



114.9%

BEARDSLEY

心地よいフォルムや素材へのこだわり。
刺繍やオリジナルプリントで
遊び心を加えたハンドワーク感のあるもの。
唯一無二な世界観。
イメージを象徴するワードから発想する、
物作りのシーズンテーマ。
一つ一つの物語を読み進めるように
コレクションを展開しています。

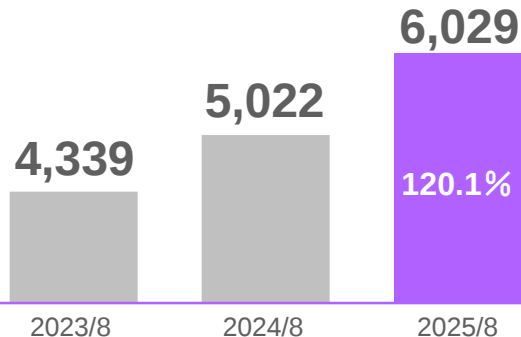
ビアズリー

店舗数 19店舗



売上高

単位:百万円



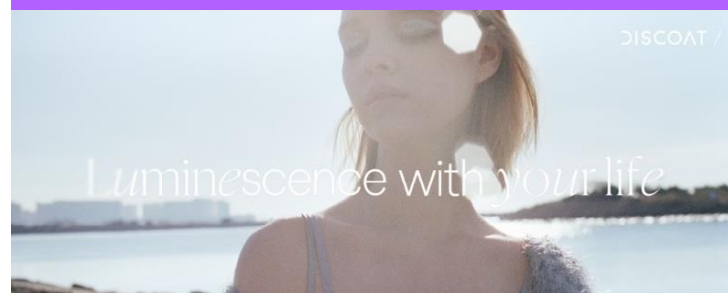
120.1%

DISCOAT /

with your life
ライフスタイルを豊かにしてくれるモノ・コト
『フレンチカジュアル×ヴィンテージ』をベースに
トレンドを自分らしく楽しめるファッションと
日常をアップデートしてくれる
ライフスタイルアイテムを提案します。

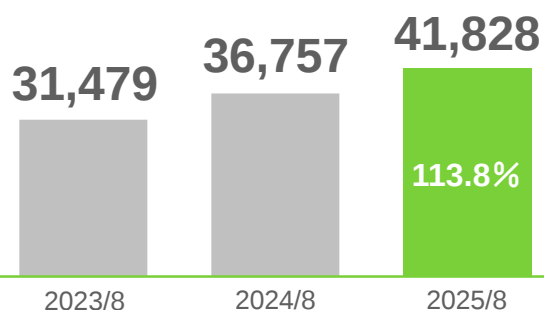
ディスコート

店舗数 45店舗



売上高

単位:百万円



113.8%

3COINS

ベーシックな生活雑貨から、
空間を彩るインテリア雑貨など幅広いラインナップと、
つい手に取りたくなるデザイン性のある商品たち…
いつ行っても新しい発見がある「3COINS」は、
あなたの“ちょっと幸せ”をお手伝いする雑貨店です。
生活雑貨・インテリア雑貨・服飾雑貨・モバイルアイテム・
キッズアイテムなど、様々なアイテムを300円を中心に、
幅広く取り揃えています。

3コインズ

国内店舗数 362店舗



販売費及び一般管理費

PAL GROUP HOLDINGS

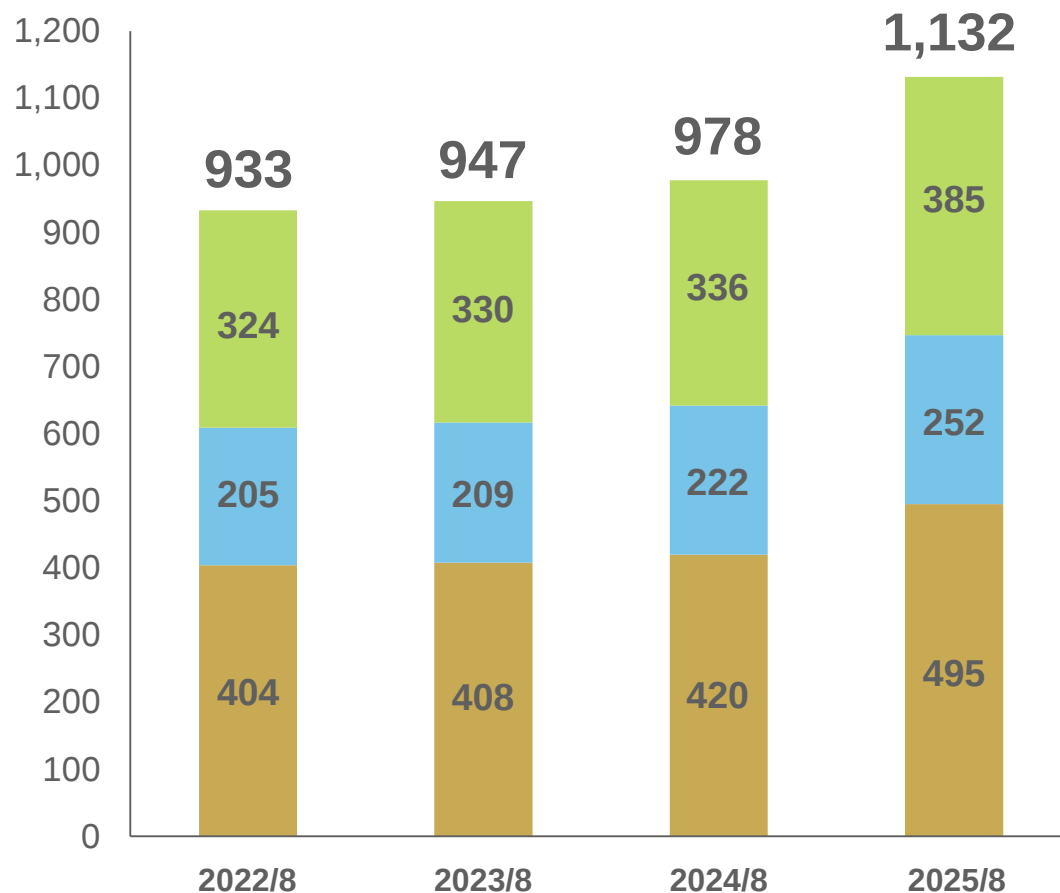
単位:百万円

	2024年2月期 第2四半期	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期	前年同期比
(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル	37,367	40,209	44,350	110.3%
連結	42,027	44,866	52,778	117.6%
販管费率(連結ベース)	44.6%	44.3%	45.1%	0.8P
人件费率	16.3%	16.3%	16.7%	0.4P
賃料费率	11.6%	11.3%	11.2%	△0.1P
広告宣伝费率	1.0%	0.9%	1.0%	0.1P

- 売上高販管费率は、前期比0.8ポイント上昇しました。
- 人件費は、業績好調を背景に、第1四半期に12月支給予定の賞与引当金を積み増したため、売上高人件费率が0.4ポイント上昇しました。
- 賃料・広告宣伝费率は、しっかり抑制できており、売上高比率は前期比ほぼ横ばいでした。

第2四半期末店舗数1,132店舗 （前期末比54店舗増）

- その他地方
- 関西圏
- 関東圏



● 出退店状況

上期の新規出店は68、退店は14となり、前期末比純増54店舗となりました。
衣料事業は出店48、退店14、純増34店舗
雑貨事業は出店20、退店0、純増20店舗でした。

● 各ブランドの出店状況

衣料事業は、ローカストが17店舗、DISCOAT 4店舗、その他で27店舗を出店しました。オフプライスショップのローカストを積極出店しております。
雑貨事業は、3COINSが18店舗出店し、退店が0で、純増20店舗となりました。3COINSは、香港とマレーシアに1店舗ずつ出店しましたが、上記総店舗数には含めておりません。

特別損益

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2024年2月期 第2四半期	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期
補助金収入	—	220	—
特別利益合計	—	220	—
固定資産圧縮損	—	220	—
固定資産除却損	90	45	3
減損損失	143	219	131
特別損失合計	233	484	135

- 出退店を落ち着いたペースで進めており、減損損失も例年より若干少なくなっています。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期 第2四半期	前期末比増減	備考
流動資産	96,692	114,287	125,592	11,305	
現金及び預金	67,228	85,715	90,544	4,829	
受取手形及び売掛金	10,374	10,473	14,955	4,483	
たな卸資産	16,523	16,743	18,991	2,248	
その他	2,565	1,358	1,100	△258	
固定資産	30,230	33,642	34,937	1,295	
有形固定資産	10,905	12,965	13,829	864	
無形固定資産	393	816	724	△92	
投資その他の資産	18,931	19,861	20,416	555	
資産合計	126,922	147,929	160,563	12,634	
流動負債	45,023	50,586	63,458	12,872	
固定負債	18,453	23,989	19,752	△4,237	役員退職慰労引当金△3,722
負債合計	63,477	74,576	83,211	8,635	
純資産合計	63,444	73,353	77,352	3,999	
負債純資産合計	126,922	147,929	160,563	12,634	

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	2024年2月期 第2四半期	2025年2月期 第2四半期	2026年2月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,525	17,398	12,910
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,336	△2,386	△2,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,130	△3,912	△5,927
現金及び現金同等物の増加（減少）額	△1,941	11,100	4,829
現金及び現金同等物の期首残高	63,845	67,228	85,715
現金及び現金同等物の中間期末残高	61,903	78,329	90,544

2026年2月期 連結・(株)パルグループホールディングス単体＋(株)パル業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

1. 連結

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	2026年上期	2026年下期	2026年2月期	前年比
売上高	164,482	192,544	207,825	113,500	117,500	231,000	111.2%
売上総利益	90,221	106,283	116,256	63,700	66,100	129,800	111.7%
販売管理費	74,399	87,677	92,599	51,000	52,400	103,400	111.7%
営業利益	15,822	18,605	23,656	12,700	13,700	26,400	111.6%
経常利益	16,061	18,839	23,929	12,700	13,700	26,400	110.3%
特別損益	▲831	▲600	▲3,763	▲300	▲400	▲700	18.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,955	12,845	11,848	8,130	8,720	16,850	142.2%
粗利率	54.9%	55.2%	55.9%	56.1%	56.3%	56.2%	0.3P

2. (株)パルグループホールディングス単体＋(株)パル

	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期	前年比
売上高	145,816	172,051	182,632	195,000	106.8%
売上総利益	80,383	95,038	102,609	110,200	107.4%
販売管理費	65,853	78,310	81,325	87,000	107.0%
営業利益	14,529	16,728	21,284	23,200	109.0%
経常利益	14,600	16,696	21,309	23,200	108.9%
特別損益	▲826	▲464	▲3,530	▲500	14.2%
当期純利益	9,316	11,826	11,630	14,900	128.1%
粗利率	55.1%	55.2%	56.2%	56.5%	0.3P

- ノーリース他のM&Aによる売上・利益の押し上げ効果、前年のサーバートラブルに起因する売上減の反動増、為替相場の落ち着きや、販管費抑制効果の継続により、増収増益を見込んでいます。

2026年2月期 通期業績見通しの前提

PAL GROUP HOLDINGS

1. 店舗数の状況

	2024年2月期	2025年2月期	2025年8月末	2026年2月期 期末予想
新規店舗数	80	163	68	108
退店店舗数	58	34	14	41
店舗数純増	22	129	54	67
会計年度末の店舗数	949	1,078	1,132	1,145

2. 既存店売上の状況 (パルグループ各社の合計)

	2024年2月期	2025年2月期	2026年2月期 上期累計実績	2026年2月期 下期累計見通し	2026年2月期 通期見通し
既存店売上推移	111.1	100.4	102.5	107.5	105.0
うち小売既存店売上高	106.6	97.6	100.0	101.0	100.5
うちネット通販既存店売上高	124.6	105.8	111.7	114.7	113.2

	2024年3月	2025年3月	4月	5月	6月	7月	8月
既存店売上推移	103.5	101.7	99.7	100.1	104.9	104.4	104.1
うち小売既存店売上高	98.1	99.5	95.6	97.7	102.4	102.4	102.0
うちネット通販既存店売上高	117.6	114.7	112.3	106.2	111.6	111.6	114.3

3. 全店売上の状況

	2024年 3月	2025年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	上期計
全店売上	111.8	115.4	112.0	114.2	115.4	117.5	117.0	115.6
うちEC	121.1	118.3	117.0	112.7	117.4	118.8	116.2	116.8

4. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比(第2四半期累計)	客数前年度比(第2四半期累計)
衣料事業	102.8%	100.7%
雑貨事業	109.3%	103.1%
全体	105.4%	102.8%

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

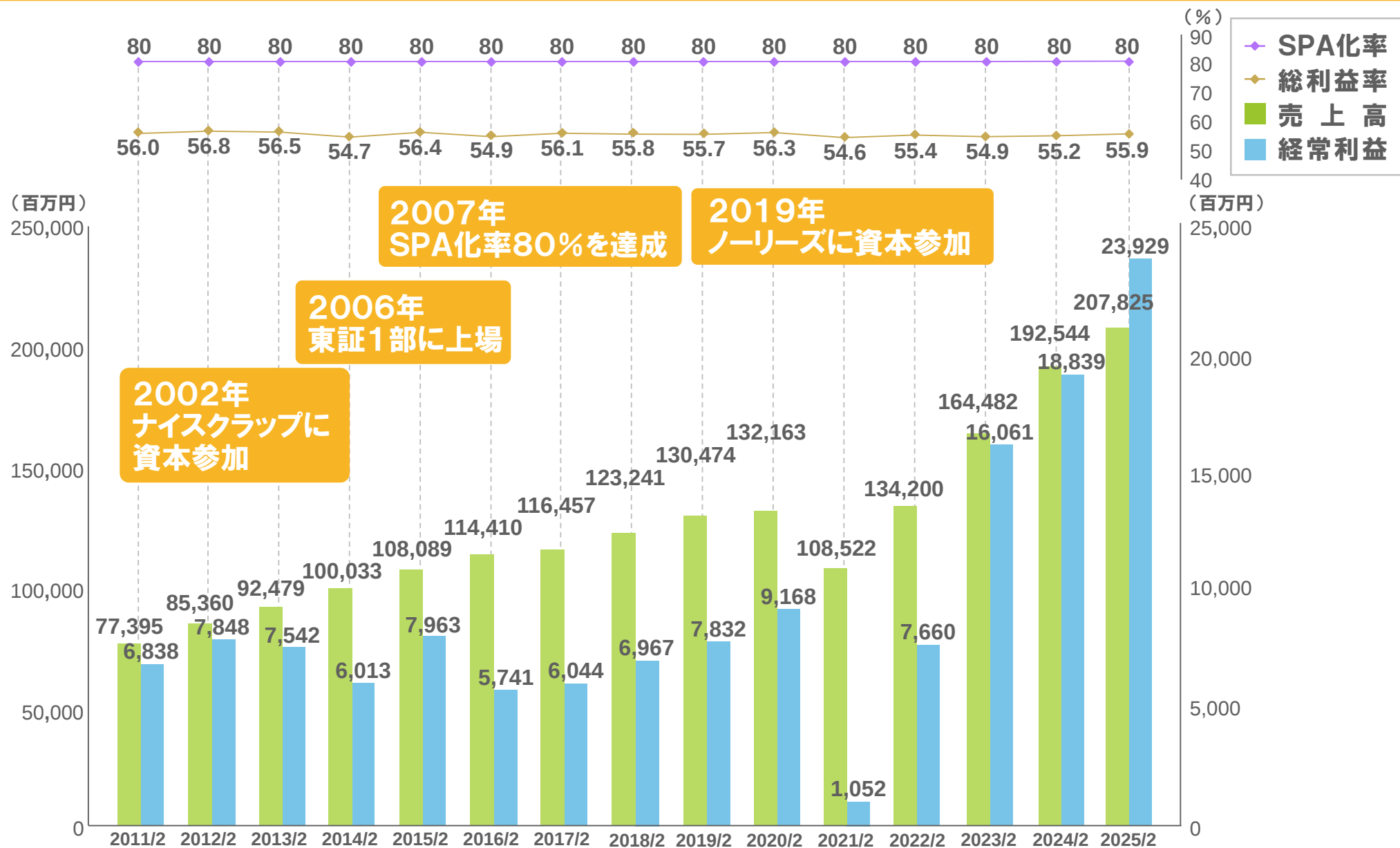
経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン



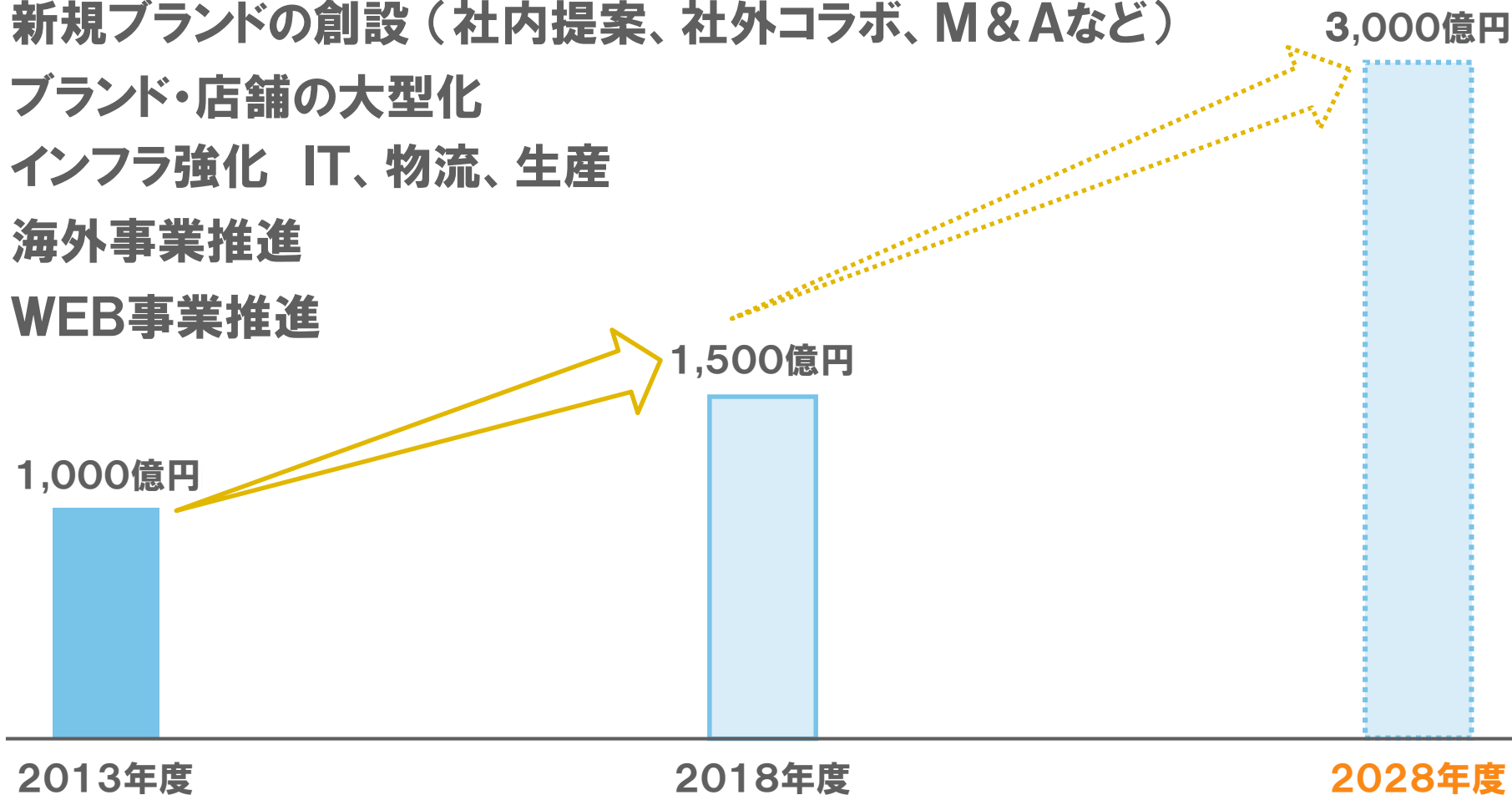
業績推移

PAL GROUP HOLDINGS



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・・・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- ブランド・店舗の大型化
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

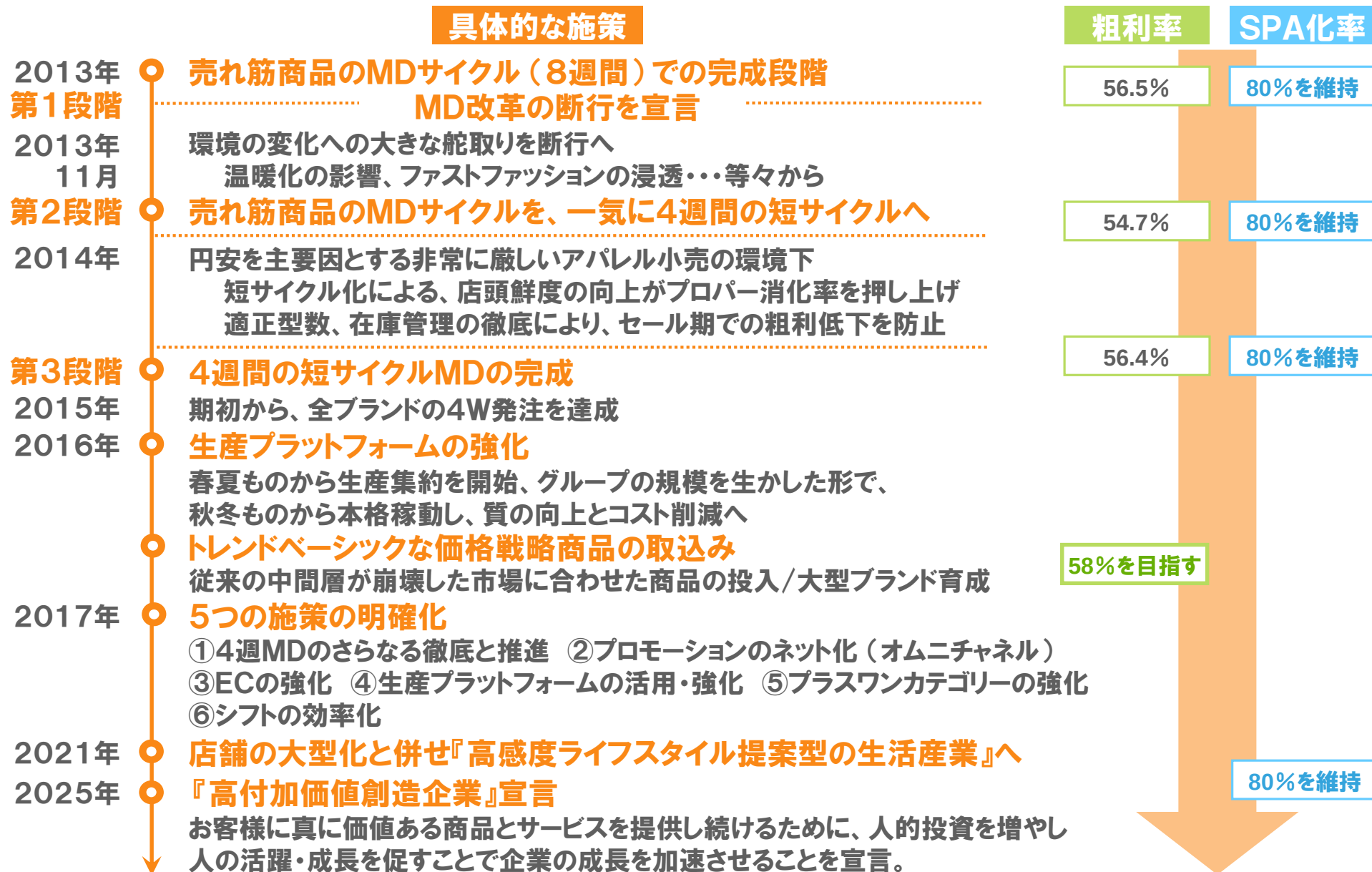
トピックス

1. MD改革の進捗状況
2. EC販売強化
 - ①. EC売上高の推移
 - ②. PALアプリ会員数の推移
3. サステナビリティへの取り組み
 - ①. 企業版ふるさと納税制度で地域創生を応援
 - ②. (人的投資) 表彰社員の海外研修旅行
4. 3COINS香港・マレーシアに初出店
5. 「JPXプライム150指数」の構成銘柄になりました



1. MD改革の進捗状況

PAL GROUP HOLDINGS



2-①. EC売上高の推移

PAL GROUP HOLDINGS

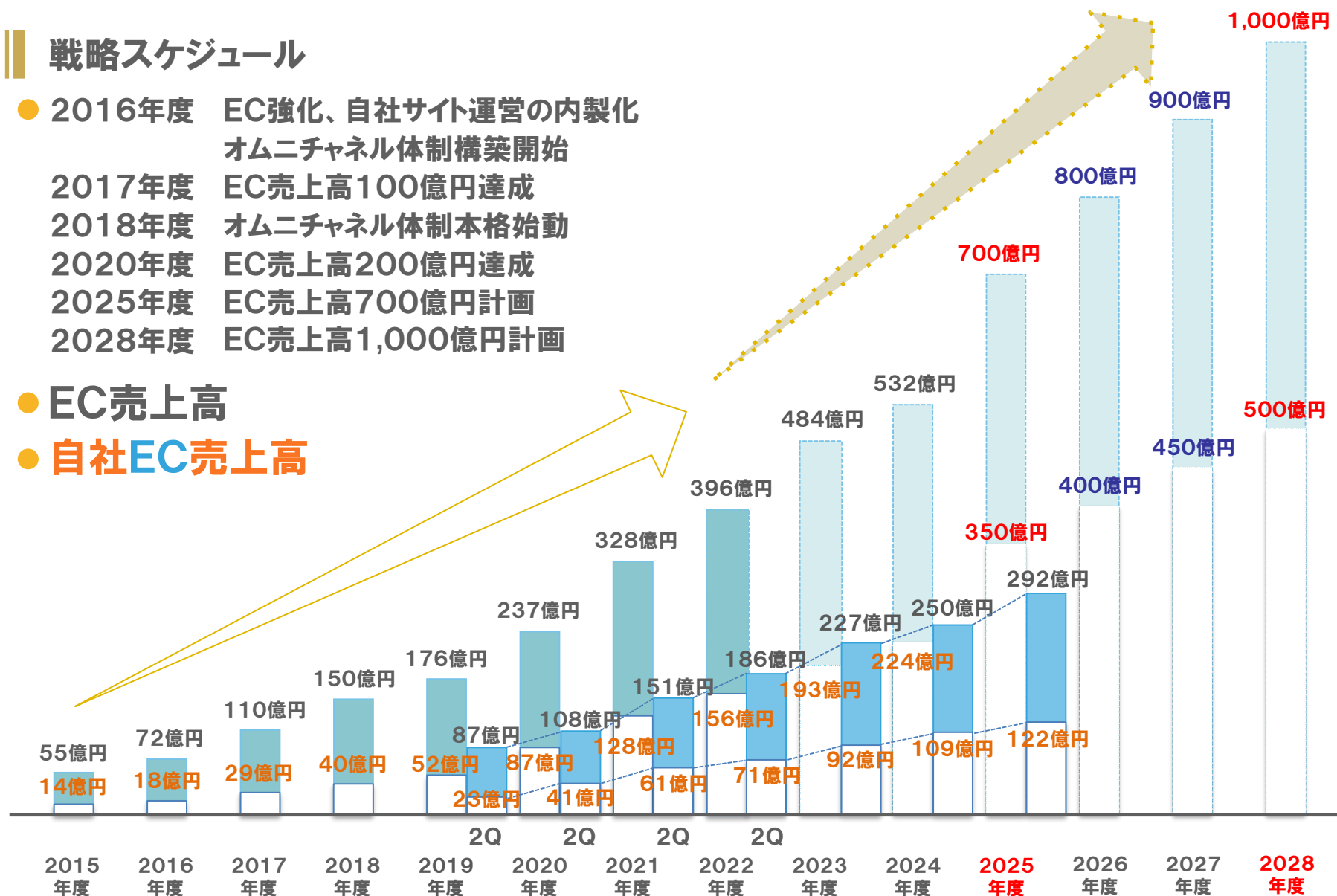
※2022年度より「収益認識に関する会計基準」数値適用

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャネル体制本格始動
- 2020年度 EC売上高200億円達成
- 2025年度 EC売上高700億円計画
- 2028年度 EC売上高1,000億円計画

● EC売上高

● 自社EC売上高



2-②. PALアプリ会員数の推移

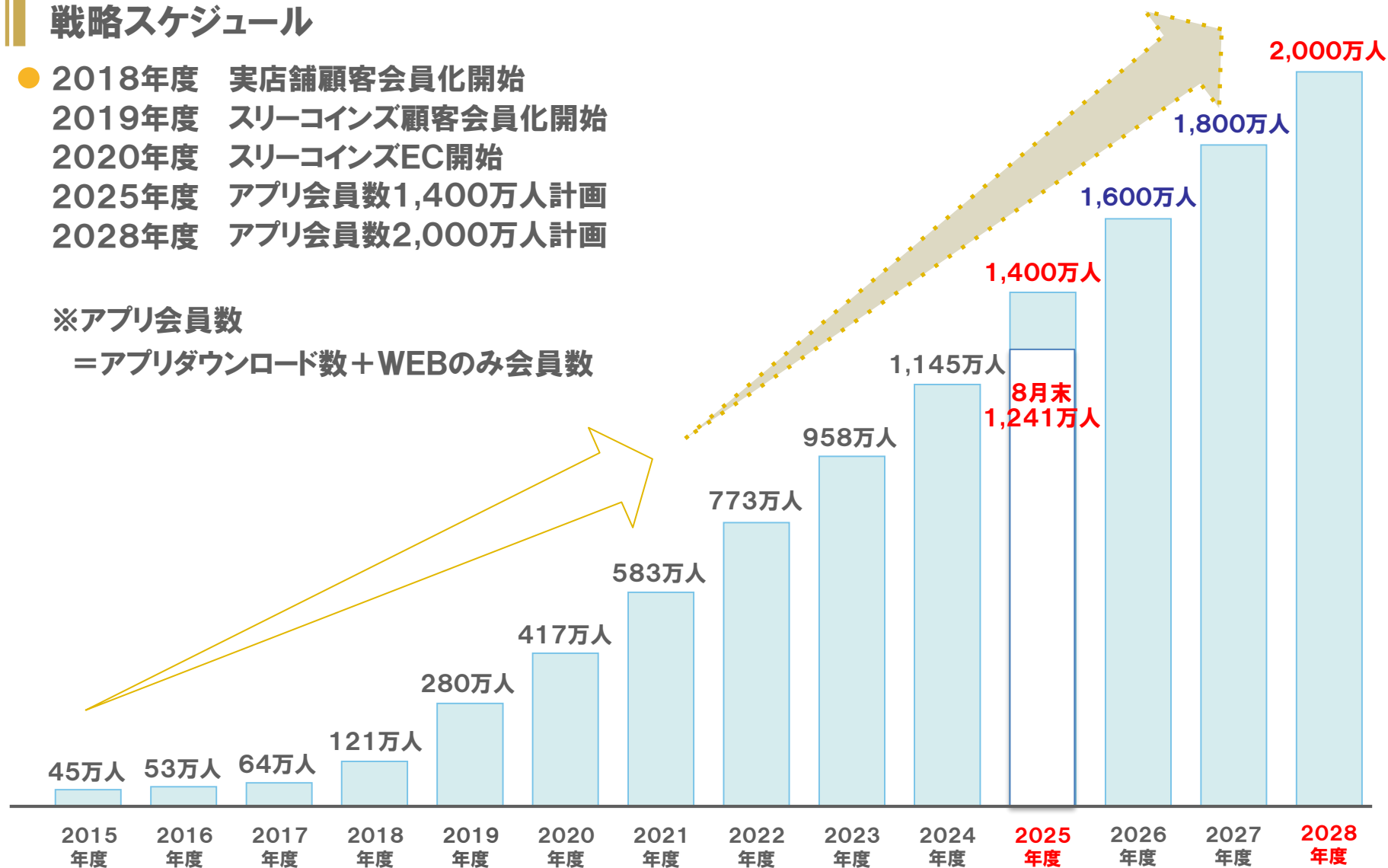
PAL GROUP HOLDINGS

戦略スケジュール

- 2018年度 実店舗顧客会員化開始
- 2019年度 スリーコインズ顧客会員化開始
- 2020年度 スリーコインズEC開始
- 2025年度 アプリ会員数1,400万人計画
- 2028年度 アプリ会員数2,000万人計画

※アプリ会員数

=アプリダウンロード数+WEBのみ会員数



3-①.企業版ふるさと納税制度で地域創生を応援

PAL GROUP HOLDINGS

奈良県下市町に寄附を行い、地域活性化の取り組みをさらに加速させます。

地域活性化の取り組みを、点から面に広げ、さらに強力に推進していきます。

株式会社パル（本社：大阪市、代表取締役社長：小路順一）は、昨年7月に、廃校となった旧下市南小学校をリノベーションした複合型商業施設「KITO forest market shimoichi」（以下「KITO」）を開業し、地域資源を活かした地方創生の先進的な取り組みを進めてまいりました。1年間で20万人近い来訪者を数え、地域の新たな交流・観光拠点として地域活性化に貢献しています。

この地域活性化の取り組みをさらに加速させるため、株式会社パルは、企業版ふるさと納税を活用し、奈良県吉野郡下市町（町長：仲嶋久雄）と連携して、地方創生事業をさらに強力に推進していくことを正式に決定いたしました。

株式会社パルは令和7年度に1億円、令和8年度および令和9年度にはそれぞれ2.5億円、総額6億円を下市町に寄附いたします。本件寄附は、企業版ふるさと納税制度を通じて実施されるものであり、地域の持続可能な発展と活性化を目的とした、多岐にわたるプロジェクトに活用される予定です。

株式会社パルと下市町は、地域と企業がともに未来を築く新たなモデルケースとして、全国に向けてメッセージを発信してまいります。



3-②.（人的投資）表彰社員の海外研修旅行

表彰社員の海外研修旅行で、今年はモロッコを訪れました。

単なる「ご褒美」ではない海外研修旅行

当社は、創業当初から続く「頑張った社員を称える文化」を大切に、多様な表彰制度を設けてきました。現在では、売上貢献だけでなく、接客の質、SNSでの発信など、さまざまな角度から社員の努力を評価する仕組みへと進化しています。こうした表彰制度の中で、特に優秀な社員に贈られるのが「海外研修」です。今年はアフリカのモロッコを訪れ、非日常の環境、空間、文化にどっぷり浸かる体験をしました。当社にとって、海外研修は単なる「ご褒美」ではありません。日本では得られない経験を通じ、個人の成長を促すだけでなく、ブランド・キャリアを越えた社員同士が交流することにより、新たな仲間とのネットワークが広がり、その経験が社内で共有され、全社員のエンゲージメントを高める貴重なイベントとなっています。



4. 3COINS香港・マレーシアに初出店

PAL GROUP HOLDINGS

3COINSが、香港とクアラルンプールに出店しました。

3COINSは、香港1号店となる「3COINS Hysan Place店」(スリーコインズ ハイサン プレイス店)を2025年7月18日(金)にグランドオープンしました。オープン当日は、200人を超えるお客様の行列で、入店制限を行うほどの好調な滑り出しとなりました。

また、マレーシア1号店となる「3COINSららぽーとBBCC店」を2025年8月16日(土)三井ショッピングパークららぽーとブキツ・ビンタンシティセンターにオープンしました。

開店当日は、ライオンダンスで盛り上げてもらいました。

(クアラルンプール) LION DANCE CEREMONY

(香港) PIG CUTTING CEREMONY



5. 「JPXプライム150指数」の構成銘柄になりました

「JPXプライム150指数」の構成銘柄として選定されました

株式会社パルグループホールディングスは、2025年度(2025年8月29日～2026年8月30日)の、「JPXプライム150指数」の構成銘柄として選定されました。

「JPXプライム150指数」とは、日本取引所グループ傘下のJPX総研が、東証プライム市場に上場する時価総額上位銘柄を対象に、「資本収益性」(ROEと株主資本コストの差である「エクイティ・スプレッド」)と「市場評価」(PBR＝株価純資産倍率)という、価値創造を測る二つの観点から選定した150銘柄により構成した株価指数です。

「JPXプライム150指数」の構成銘柄として選定されたことは、当社の高い資本収益性が、株式市場で高いPBRとして評価していただいた結果です。今後も「高付加価値創造企業」として、高い資本収益性を目指してまいります。



(引用: 日本取引所グループHP) 指数採用は主に右上に位置する銘柄群より選定

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

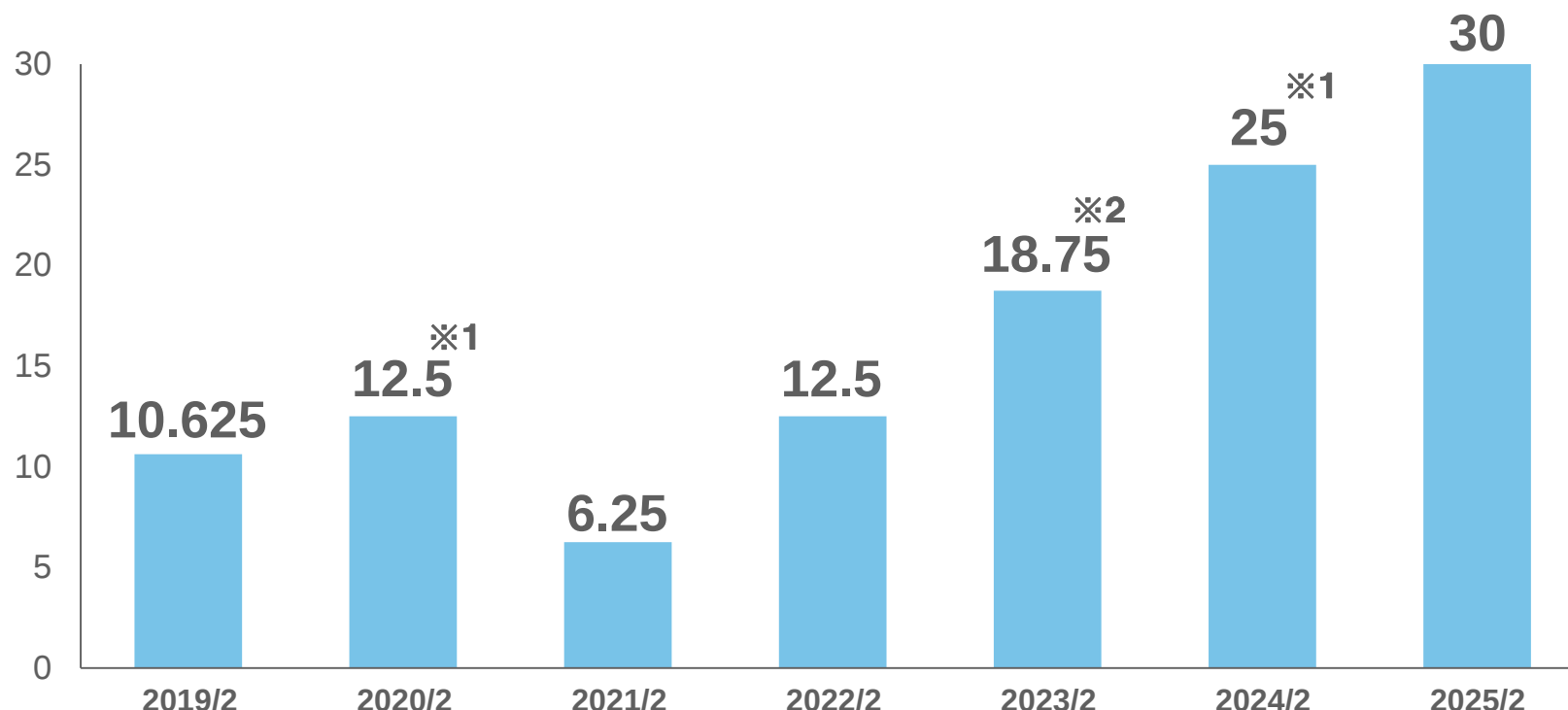
株主様への対応

1. 株主還元策について
2. 株主優待制度について



1. 株主還元策について

- 2025年9月に、1株を2株にする株式分割を実施しております。
- 当期末の1株当たりの配当は30円とする予定です（前期比同額）



※1 2020年3月1日、2023年9月1日及び2025年9月11日を効力発生日として、
1株を2株にする分割を実施済です。上記1株当たり配当金は2026年2月を基準として算定しております。

※2 18.75円配当の内訳は、15円の普通配当と、3.75円の50周年記念配当です。

2. 株主優待制度について

株主優待制度で利用可能な宿泊施設を2025年6月より4か所に増やしました

「セトレ ならまち」を株主優待制度で利用可能な宿泊施設として拡充いたしました。
そのため、西日本における利用可能な宿泊施設は「くろしお想」と合わせて2カ所に増えました。
2025年9月に株式分割を実施しておりますが、株主優待券の付与枚数は変更ありません。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている
100株（1単位）以上を保有されている株主様を対象といたします。

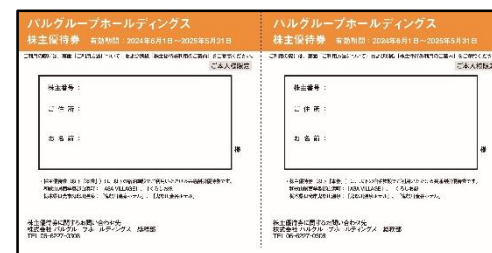
● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の2つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ①当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「くろしお想」での宿泊コース料金の50％を割引
- ②株式会社ホロニクとの提携により、同社が奈良市で運営する「セトレ ならまち」及び、金谷ホテル観光株式会社との提携により、同社が日光・鬼怒川エリアで保有する「鬼怒川温泉ホテル」、「鬼怒川金谷ホテル」での宿泊コース料金の50％を割引

● 優待券の付与枚数…株式分割後も変更ありません

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

ESGへの取組み

1. 当社のESGの取組み
2. PALフォレスト事業（Environment）
- 3-①. 関西学院大学での寄附講座（Social）
- 3-②. パル井上財団での取組み（Social）
4. ジェンダー平等と働き方改革（Governance）



1. 当社のESGの取組み

当社のESGの取組み（Environment Social Governance）は、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の日常の活動を通して、『社員と株主みんなの幸せのための経営』という経営理念と、『未来につなげる社会と地球のための経営』の実現に向け、邁進することと考えています。



2. PALフォレスト事業（Environment）

PAL GROUP HOLDINGS

「PALフォレスト事業」の取組み（Environment）

2011年より、「PALフォレスト植林事業」をスタート。以来13年間で400本以上の広葉樹を植林してまいりました。2020年～21年はコロナ禍のため中止となりましたが、2022年には再開し、現在に至っております。

毎年多くの社員が参加し、地球環境維持の大切さを認識するとともに、自然と向き合う貴重な体験を共有しています。



3-①. 関西学院大学での寄附講座(Social)

PAL GROUP HOLDINGS

関西学院大学、国際学部での寄附講座の取組み (Social)

当社は、2013年から5年間の大阪大学での寄附講座に続き、2019年から、関西学院大学、国際学部での寄附講座を開始いたしました。机上での理論に加え、経営、流通の現場からの講義を通して、将来の人材育成に寄与し続けたいと考えています。



美しい時計台のある関西学院キャンパス



3-②. パル井上財団での取組み（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成①（Social）

当社は、2013年より、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約70名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生（留学生を含む）に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト

トップページ



パル井上財団

3-②. パル井上財団での取組み（Social）

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成②（Social）

パル井上財団では、奨学金の給付事業に加え、2018年より、服飾専門学校の流通学科を専攻する学生によるロールプレイ大会を開催しております。

『PAL FOUNDATION CUP』と名付けられた大会には、北海道から九州までの多数の服飾専門学校から選抜された学生により、優劣の付け難い内容でのロールプレイングを披露して頂いており、ファッションビジネスを目指す学生の目標となる大会となっております。



4. ジェンダー平等と働き方改革（Governance） PAL GROUP HOLDINGS

徹底した『ジェンダー平等』と『働き方改革』（Governance）

『①ジェンダー平等』

当社には、「働きに応じて平等」という、クリアな人事制度評価上での指針が徹底されており、一人ひとりが、モチベーションの向上と共に、安心して働ける環境が整備されています。

	売上	粗利	人件費	在庫	資金	棚卸	合計	100点換算
第一事業部	396	116	84	71	...	...	...	98
第二事業部	353	78	77	...	...	...	...	86
第三事業部	310	93	...	...	...	...	...	...
第四事業部	378	...	...	...	...	...	...	...
5	...	...	...	...	...	...	...	...
第七事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
第八事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
第九事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
全社合計	382	82	66	61	...	...	...	85

『②働き方改革』

当社は、1日8時間に捉われないフレキシブルな労働時間の設定を可能にする運用を始め、有給休暇や長期休暇の取得も容易になるなど、メリハリのある職場環境の醸成に努めています。

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名

株式会社 パルグループホールディングス

所 在 地

【本社所在地】 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F
【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F

代 表 者

松尾 勇

資 本 金

31億8,120万円

設 立

1973年10月

事業内容

婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売

店 舗 数

1,132店舗

広報室

TEL 06-6227-0308

FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。